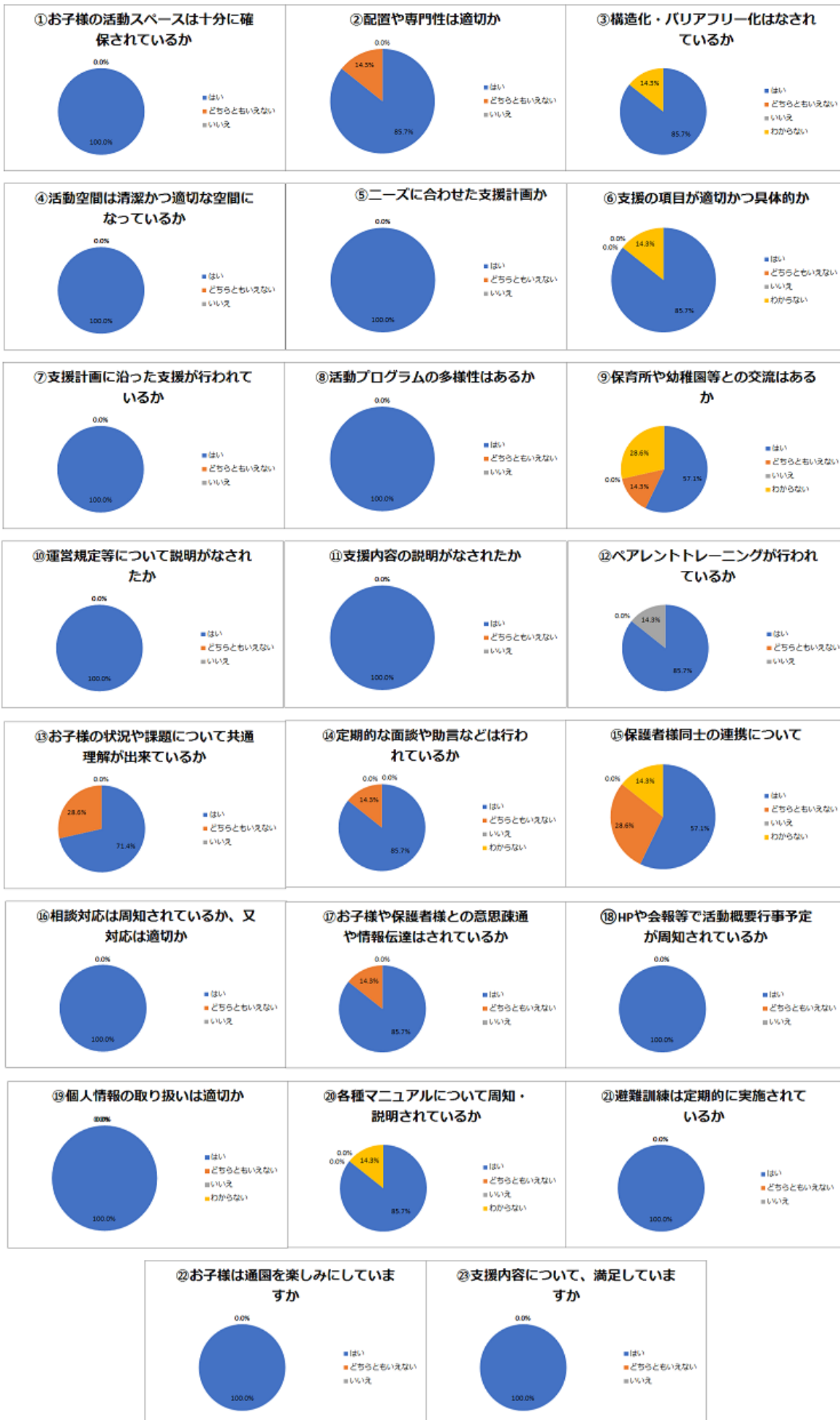
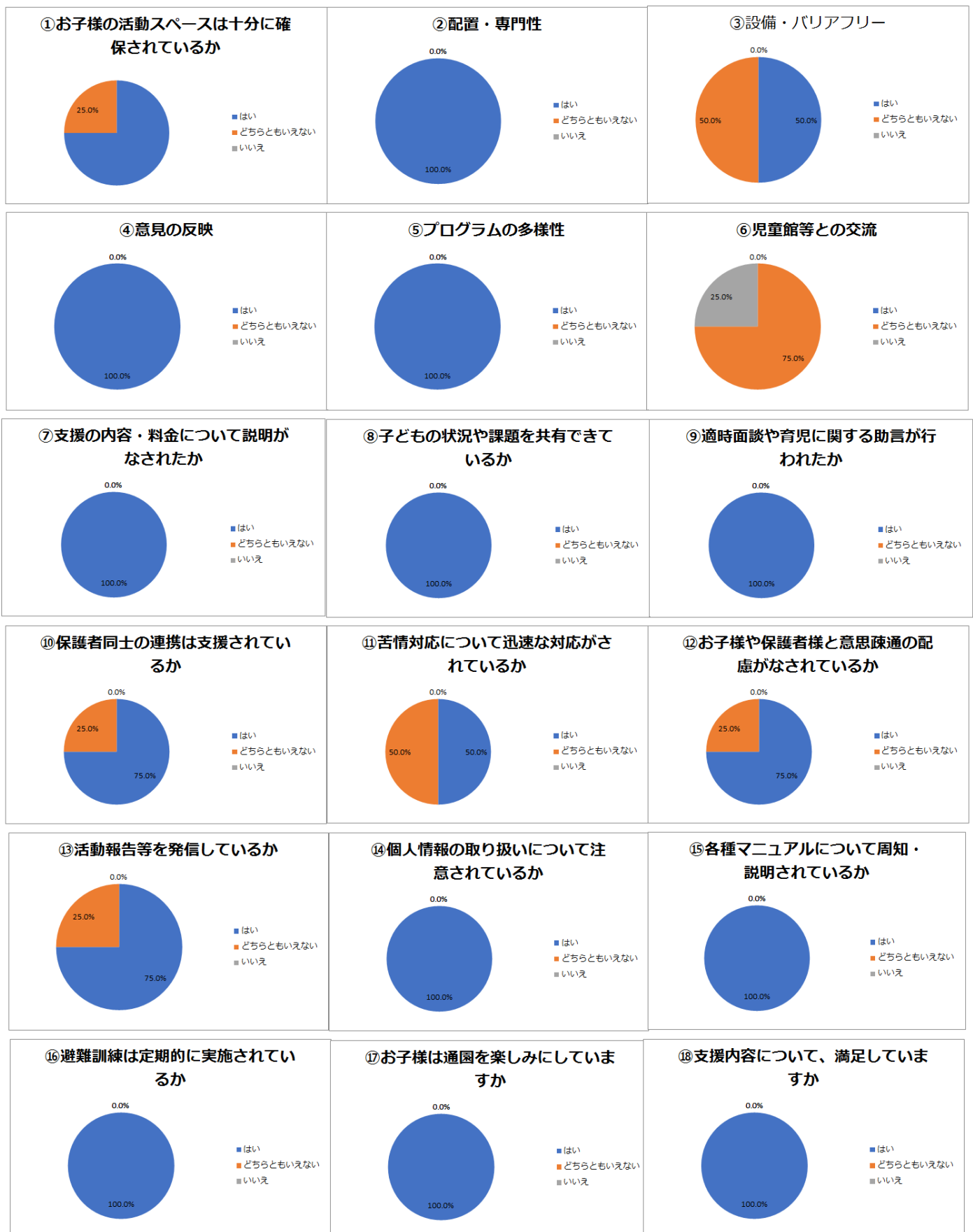
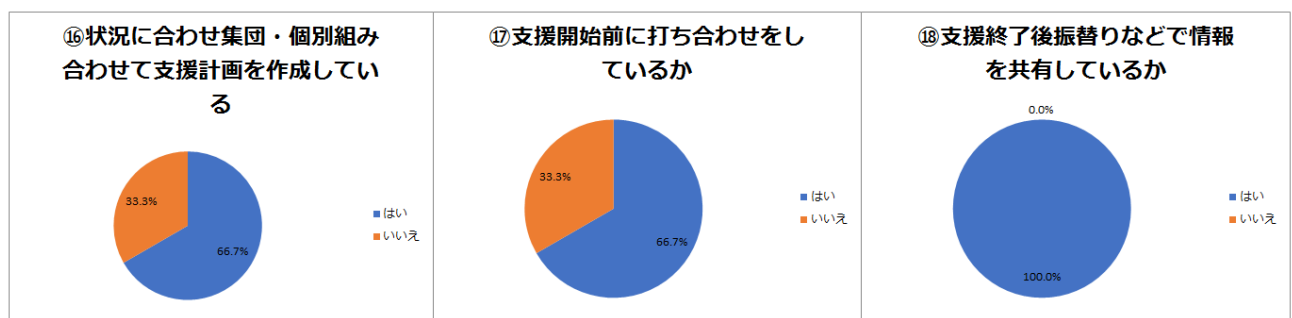
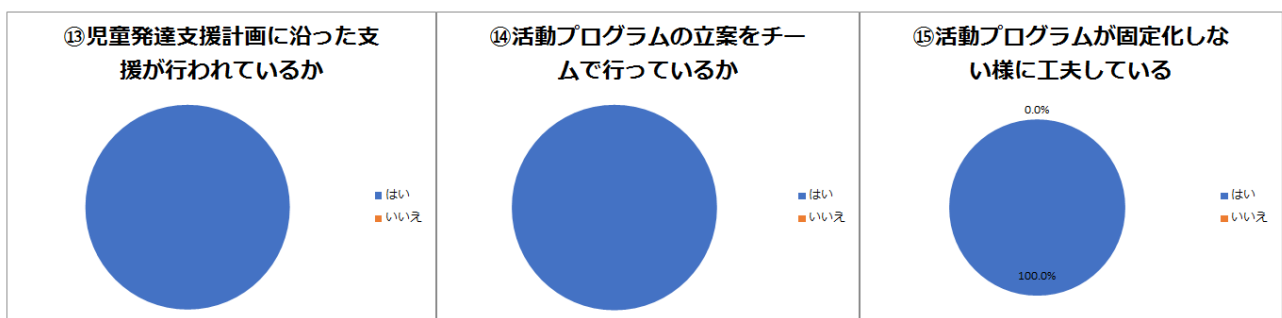
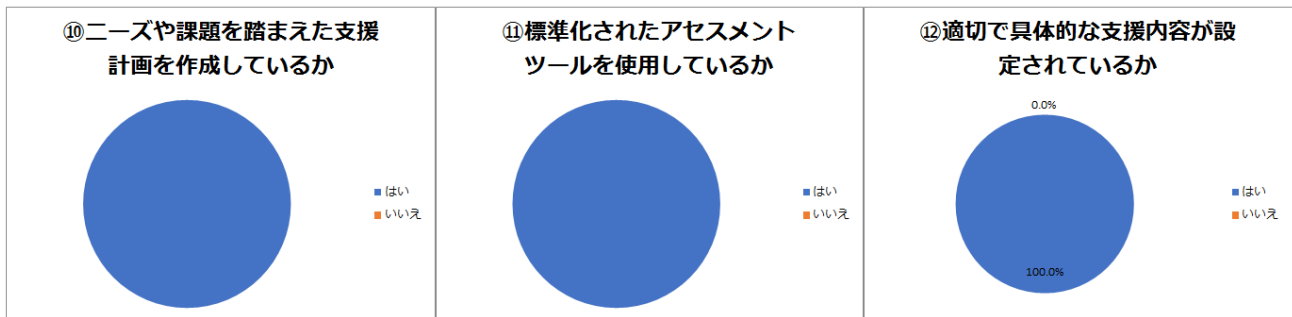
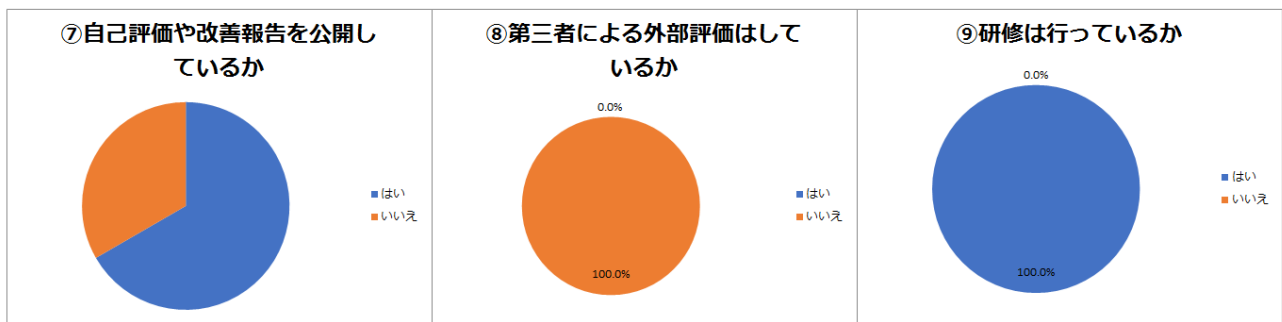
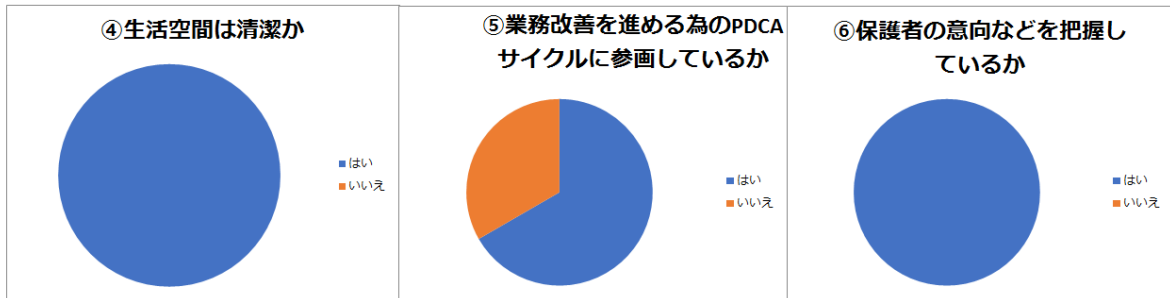
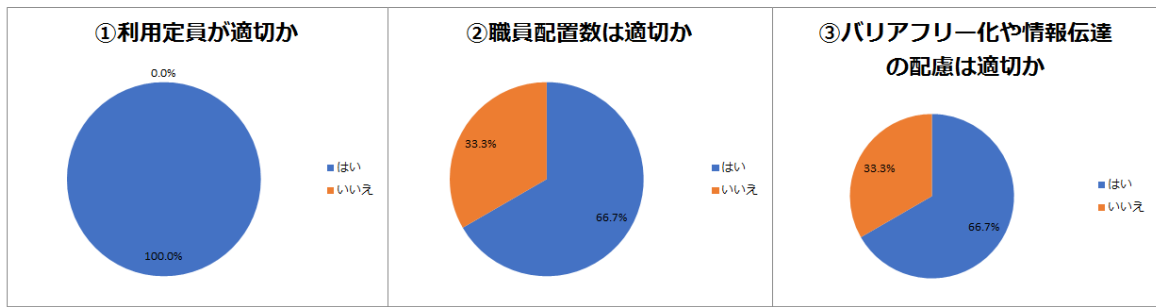


児童発達 【西口】

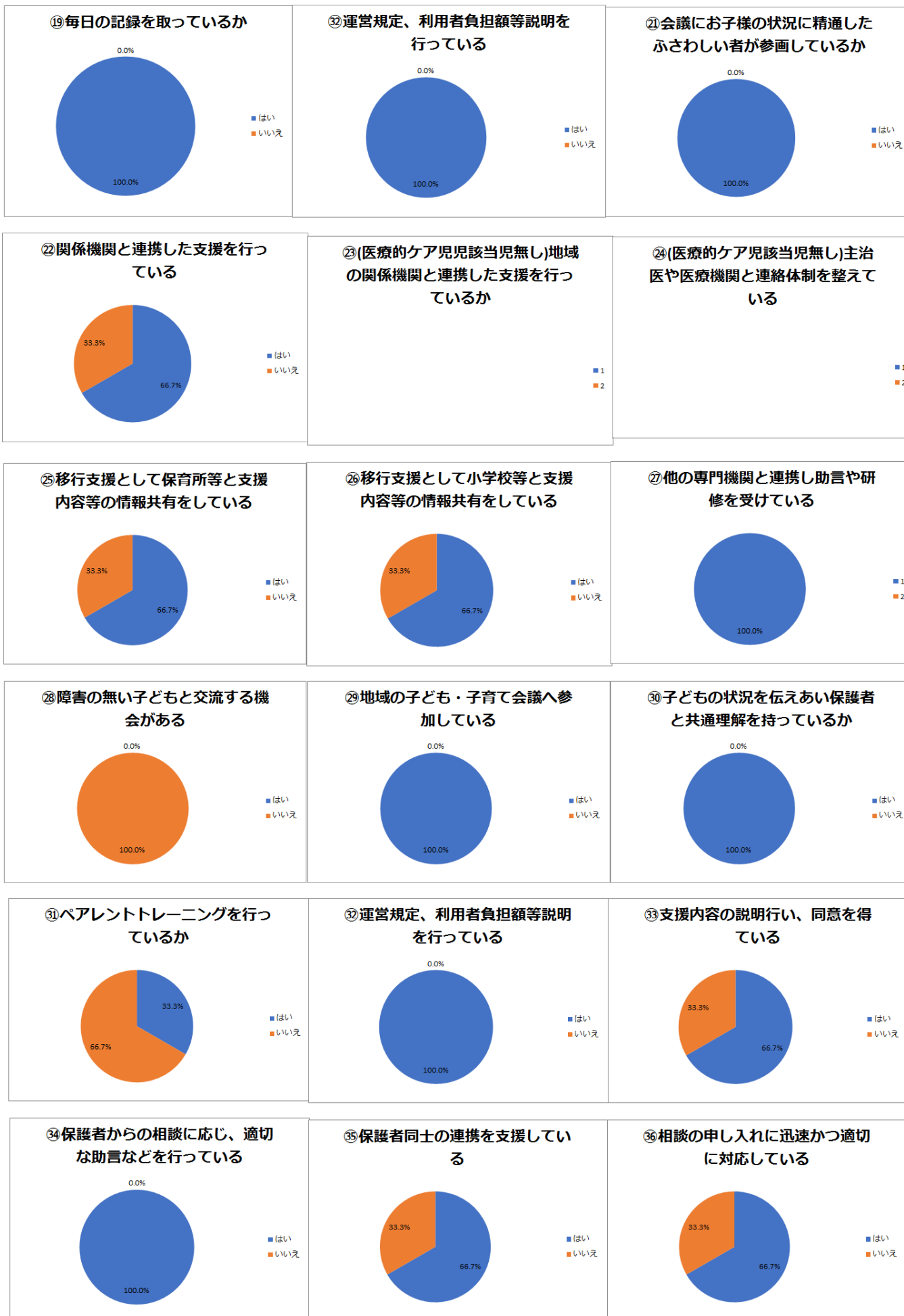




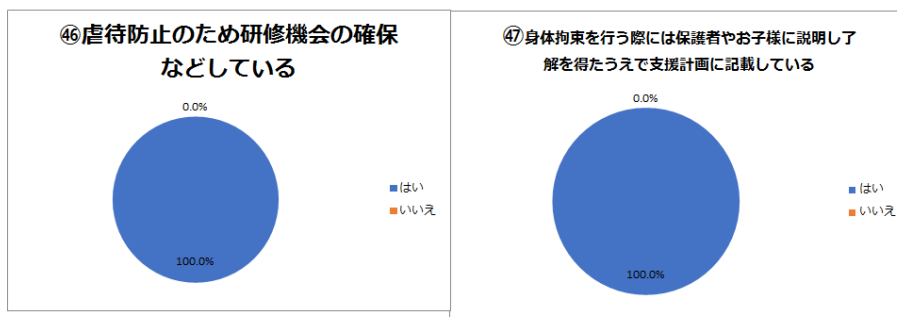
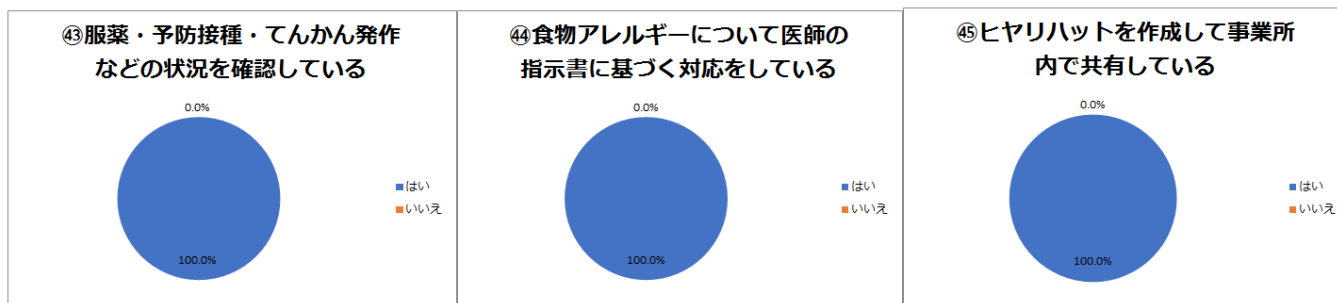
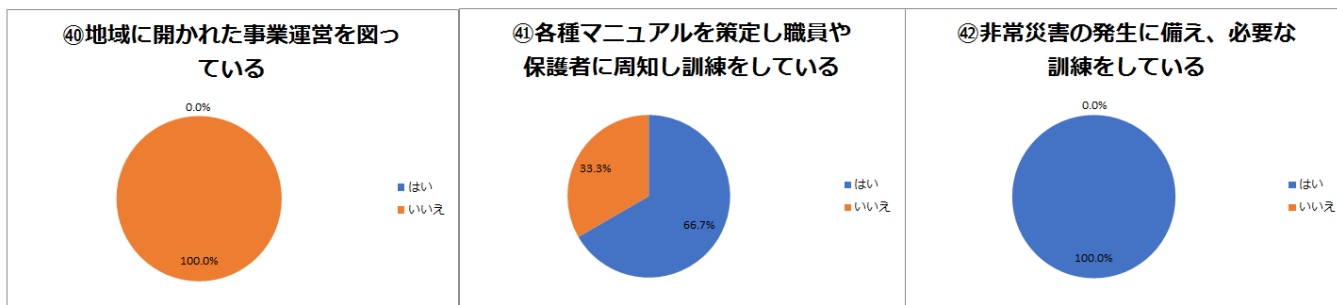
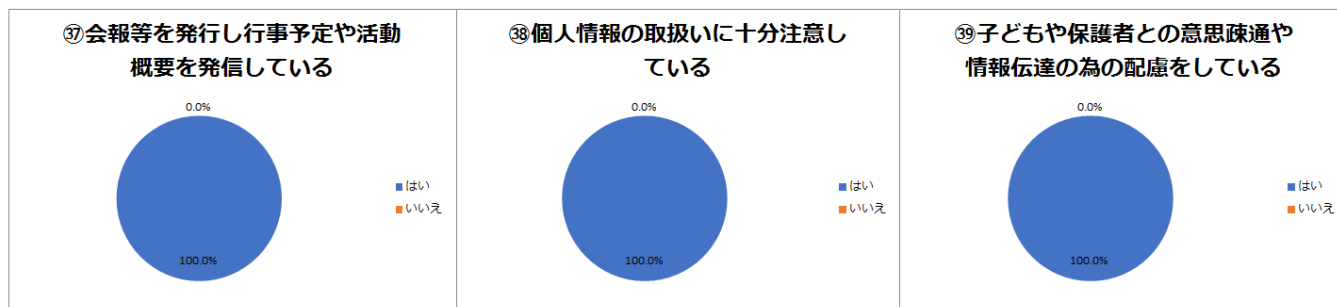
スタッフ評価① 【西口】



スタッフ評価② 【西口】



スタッフ評価③ 【西口】



事業所自己評価シート

職員による自己評価

A環境面

- ・バリアフリーにする点など
- ・トイレの段さ、角や電気カバーの保護

B児童への支援内容

- ・職員皆で考えていく考えていく
- ・一日が終わった後に反省会などをする

C関係機関との連携

- ・現状で来ていない。
- ・日常の中でお世話になっている方等

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・保護者会の内容(保護者同士の交流)

E非常対応

- ・防犯マニュアル作成する

保護者による評価

A環境面

- ・十分に確保されている

B児童への支援内容

- ・予約なしでの相談時間作ってほしい

C事業所からの情報発信

- ・満足できている

D非常対応

事業所内での分析

【共通点】

- ・環境面や指導スタッフ人数、生活空間でのバリアフリー化
- ・児童への支援内容の保護者との共有や伝達・相談が出来る時間を今後もっと作っていく
- ・アセスメントツールないが、職員全員で活動を豊かにより上を目指していく

【相違点】

- ・保護者からの相談時間を作っていく
- ・外部との交流。オープンにするかどうか

分析・検討してみた

事業所の強み

- ・利用定員に対しての教室スペースは十分に取れている
- ・保護者利用満足度は高い
- ・お子様の適応行動アセスメントツールNCプログラム使用
- ・定期的に会報、活動情報電鉄で来ている
- ・個人情報を守られている

事業所の改善点

- ・バリアフリー化(家具の角、ドア)
- ・防犯マニュアル
- ・職員人数1人プラス
- ・定期計画(年間)職員同士意見交換する
- ・保護者との意見交換相談
- ・アンケート箱を作る

事業所の改善への取り組み

- ・児童への支援内容を全職員共有し、保護者会(保護者同士の相談の場)相談しやすい時間を増やしていく。
- ・保護者アンケート意見箱を作る。
- ・全職員でより上を目標にし、豊かな活動をしていく。
- ・事業所内バリアフリー化。安全確認する。
- ・年間計画を作る。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・保護者様からの意見は皆様満足している事の確認
- ・お子様中心に考える。改善点が見え、今後の取り組み課題への確認が出来た。